

眩輝

げんき



佐世保市立江迎中学校

学校だより NO. 35

校長 山邊 修治 平成30年1月23日(火)



公立高校の入試に向けて

1月に入り私立高校の推薦入試を皮切りに、高校入試がスタートしています。3年生にはこれまでやってきた受験勉強の成果をしっかりと発揮してほしいと思います。各学級や学年全体でも指導が行われていますが、テストを受けるときに要領も大切です。国語や英語などの問題で、長い文章を読んで後の問題に答えるような場合ですが、まず最初に後に出ている問題を先に読んでみるといいと思います。何が問題として聞いてあるのかを知った上で長い文章を読めば、大切なところや、あらかじめチェックを入れておいた方がよい部分が見つかるものです。いずれにせよ、文章を再度読まなければならないのですが、その場合でも全部読み返さず、答えにつながるところだけを読めば済むようになると思います。また、数学などは計算や図形、文章問題など、いろいろな問題が出てきます。1番の計算問題から取りかかるのはいいのですが、まずは最後の問題まで目を通し、問題の難易度を知っておくことも必要です。その上で、短時間で解けるものから取りかかっていき、時間のかかるものは後に回すなどの工夫が必要になってきます。社会や理科など、人の名前や地名、物質の名前など、漢字で正しく書かなければならないものがありますが、そんな時、どうしても漢字が思い出せないことがあります。そんな時も答えを空白にするのではなく、分かるところは漢字で書き、分からないところはひらがなでもいいので、答を書くようにしてください。基本、解答用紙を空白にしないよう努力してほしいと思います。50分間という限られた時間の中でいかに自分の力を発揮するか、テストの受け方も工夫が必要です。最後の数秒まで、最大限の努力をする。まぐれ当たりというのは入試にありません。事前に何かしら勉強をしていればこそ、難問にぶつかったときに答がひらめきます。これから残された時間を有効に使って最大限の努力をし、自分の夢をつかみ取ってください。



面接試験に向けて

現在、多くの高校入試において「面接」が行われています。目的は、生徒一人一人の志願動機や高校生活における目標などを本人から聞くためです。校内でも面接の練習をしていますが、うまく自分の考えの話をすることができる生徒もいれば、すばらしい考えを持っていてもそれをうまく表現できない生徒がいます。そこで、面接の中で質問をされたとき、どんなところを注意して答えればよいか考えたいと思います。まずは、「質問をよく聞く」ことです。質問の内容をよく聞き、何を答えればよいかを確認しましょう。次に「最初に答を」今練習をしている生徒の答えを聞いていると、まず自分の言いたいことを一生懸命説明しているのですが、肝心な答が最後になってしまい、思いが伝わってきません。ですから、「なぜあなたは本校を受験したのですか」という質問では、まず、「はい、貴校の大学進学実績がすばらしく、私の夢を叶えるために貴校で学びたいと思ったからです。」と話し、その後に「私は高校卒業後、大学進学を目指しています。そのためにはしっかりと学力を高めなければいけません。貴校の先生方の指導を受けて努力すれば、大学進学に必要な学力を身につけることができると思いましたので志願しました。」という風に話せば、面接官にもしっかりと思いが伝わるのではないかと思います。また、「中学校での楽しかった思い出は何ですか。」という質問であれば、「はい、体育大会で優勝したことです。」その後、「体育大会のリーダーとしてみんなをまとめることはとても大変でしたが、当日は全員が一致団結して優勝できたのですばらしい思い出になりました。」という風に。ご家庭でも練習をしてみてもいいのではないでしょうか。

大きな声で
わかりやすく



明るく
元気に

